

岩手山

○概況

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

・噴煙活動（図2）

遠望観測（監視カメラ：黒倉山山頂から北へ約8km）では、黒倉山山頂の噴気の高さは、80m以下で低調な状態が続いています。

・地震活動（図3～図5）

火山性地震は少ない状態が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

東岩手山（岩手山東側～山頂、鬼ヶ城付近）では、浅い所を震源とする高周波地震、山頂東側の海面下10km前後が震源と思われる低周波地震ともに、少ない状態が続いています。

また、西岩手山（大地獄谷～黒倉・姥倉・犬倉山）、岩手山西側（小松倉～三ツ石山）でも、火山性地震の少ない状態が続いています。

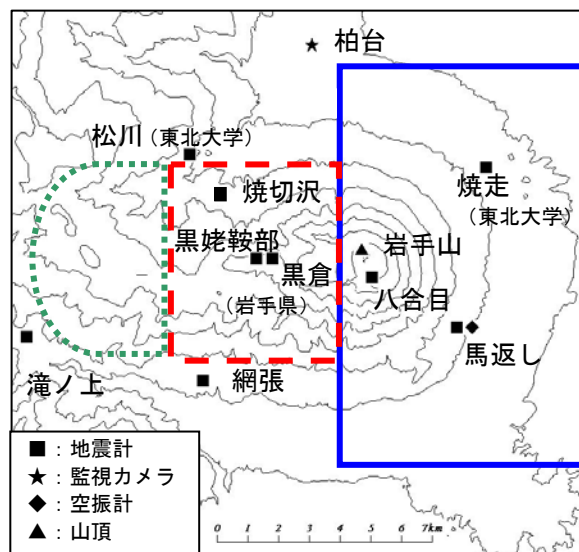


図1 ※※ 岩手山火山観測点配置図

東岩手山（岩手山東側～山頂、鬼ヶ城付近）

西岩手山（大地獄谷～黒倉・姥倉・犬倉山）

岩手山西側（小松倉～三ツ石山）

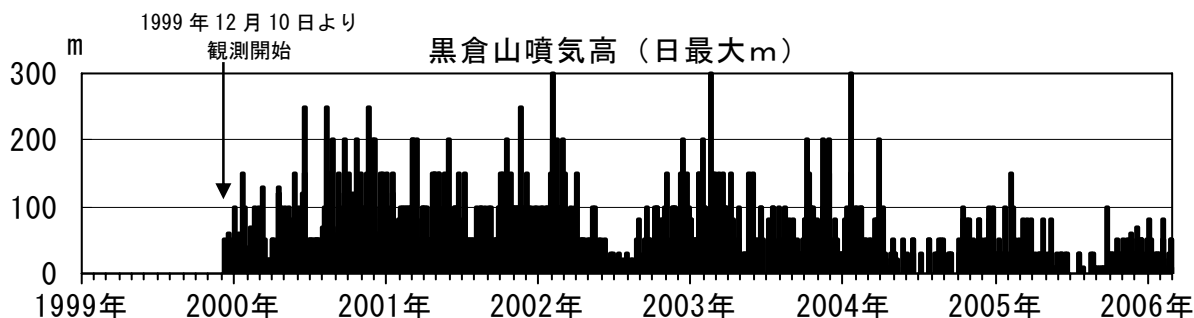


図2 岩手山の日最大噴気の高さ（黒倉山）

（1999年12月10日～2006年2月）

気象台の柏台監視カメラは1999年12月10日より観測開始。

※ 資料は気象庁のデータその他、東北大学のデータを利用して作成。

※※ 本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用したものである。（承認番号 平17総使、第503号）

◎岩手山の日別地震回数

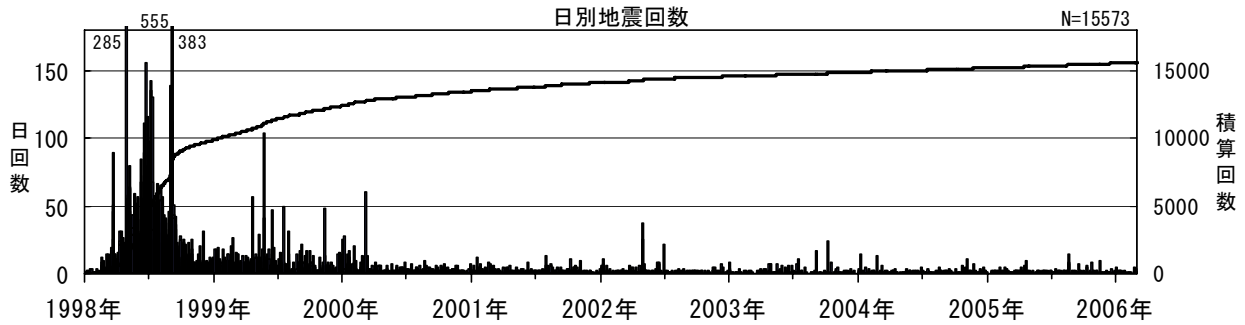
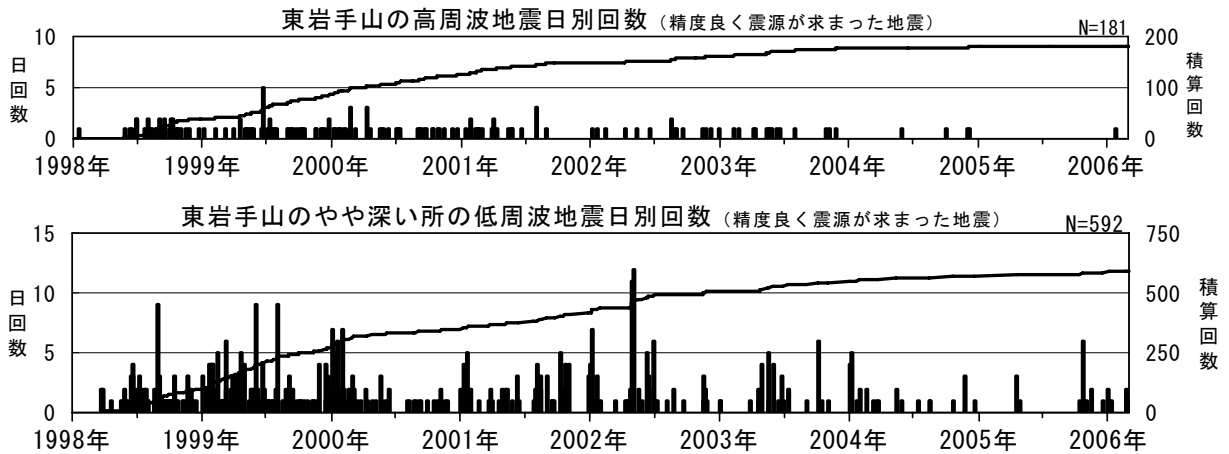


図3※ 岩手山の日別地震回数
(1998年1月～2006年2月)

注) 2006年1月1日より地震回数の基準点を、東北大学松川観測点（計数基準：S-P時間2秒以内）から
気象台焼沢観測点（計数基準：振幅0.5mkine以上でS-P時間2秒以内）に変更した。
2000年1月以降は、滝ノ上付近の地震など山体以外の構造的な地震を除外した地震回数
(1998年から1999年までは、滝ノ上付近の地震など山体以外の構造的な地震を含む)

◎東岩手山の地震(図1青枠)



◎西岩手山の地震(図1赤枠)

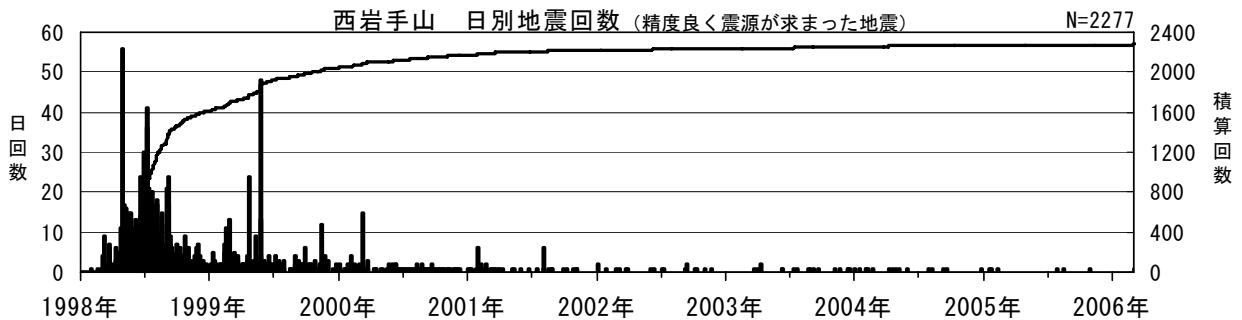


図4※ 東岩手山、西岩手山の日別地震回数
(1998年1月～2006年2月)

◎岩手山の日別微動回数

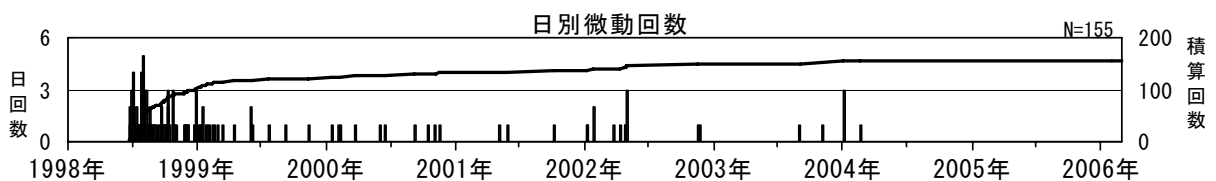


図5※ 岩手山の日別微動回数
(1998年1月～2006年2月)